

自由民主党・市民クラブ大阪市会議員団 市政報告

編集・発行 大阪市北区中之島1-3-20 自由民主党・市民クラブ大阪市会議員団 電話：06-6208-8620
 自由民主党・市民クラブ大阪市会議員団ホームページ：http://www.jimin-osaka.com/
 床田正勝ホームページ：http://www.gikai-web.com/giin/masakatsu-tokoda/index.html

創刊号
 大阪の“ひと”と“まち”のために。
 私たちの活動をNEW発信!

21世紀を担う行動する若い力!



父から引き継いだ仕事。地下鉄8号線(今里筋線)がついに開通!

昨年12月24日、地下鉄8号線(今里筋線)が開通しました。23日の前日祭ではパレード、24日には盛大な開通式が行われ、東淀川区は大変盛り上がりつつあります。地下鉄8号線(今里筋線)は、故 父 床田健三が昭和50年に大阪市会に初当選させて頂いた時の公約でした。31年間の夢が実現した事業です。父のやり残した仕事を完成させる事ができ、安心しております。是非、皆様と緒に喜びを分かち合いたいと思います。

東淀川区を南北に走る鉄道各駅を結ぶ赤バス東ループ通行開始。

東淀川区は東西に長い地形ですが、JR・阪急・今里筋線・大阪外環状鉄道(城東貨物船)などの鉄道は、すべて南北に走っています。各鉄道の駅を結び、交通サービスを完成させるため、4年前の公約通り、去る1月8日、赤バス東ループを通行開始させる事ができました。これは、近畿郵政局(特に区内の特定郵便局)の協力によって、平成15年から特定郵便局で大阪市の行政サービスの取り扱いを開始していた事を発端とし、特定郵便局内で交通局のソフトKANSAIカードを販売し、付近に赤バス停を設置すれば、単なるルート拡大だけでなく、財政根拠をもって臨めると考えました。お一人でも多くの方にご利用頂ければと思っています。

MASAKATSU TOKODA

床田正勝

大阪市議員[東淀川区]2期 民生保健委員 環境対策特別委員 議員団副幹事長 議員団政調副会長

もっと大阪に愛着と誇りを。大阪ののりものずかんを発行。

書店の児童書コーナーを眺めていると、多種多様な本を見つけてことができます。その中でも、男の子が好きな「のりもの」の本は、いつも児童書コーナーの中心に陳列されています。ただ残念なことに、写っている車両はいずれも関東圏のものばかりで、残念に思った子供達はたくさんいると思います。私は、「ただでさえ東京中心なのに、『のりもの』の本まで東京中心でいいのか?」「子供の頃から、もっと大阪に愛着と誇りを持ってもらいたい。」「子供達に、本で見た『のりもの』が

目の前を走った時の喜びを味わってもらいたい。そして”本と一緒に!”と、親子のスキンシップになってほしい。”と考案「大阪ののりものずかん」を発行いたしました。掲載されている車両はすべて、大阪で走っているものばかりです。大阪人の気質に合った本が完成し、テレビ番組の「ちんぷいぷい」や「ムーブ!」、「毎日新聞」などで大きく取り上げられ、皆様に親しんで頂いております。今後、子供達の夢と青少年の情熱のために、全力で頑張ります。



年々増えていた大阪市の借金は、平成17年度は5兆5665億円でした。そこで、大阪市会財政総務委員に就任した昨年、借金を次の世代に先送りしないよう、市の借金を昨年度比478億円減(約0.8%減)の5兆5187億円とする平成18年度予算を成立させました。単に借金を減らすだけではなく、市民サービスを維持しながらも無駄な支出をしつかり削減し、本当に必要な施策を見極めて実行していきます。そのためにも、議会の中心となってチェック機能を働かせ、大阪市のために全力で頑張っていきます!

犯罪が多発しておりますので、**安まちメール**(警察の犯罪情報メールサービス)に登録して早期情報収集と対応をお願いします。全員で子供達を守っていきましょう。

- | | | | |
|-----------------|---|--|---|
| 携帯メニューから | NTTドコモ i-mode
▼ iMenu
▼ メニューリスト
▼ タウン情報・行政
▼ 大阪府警察
▼ 安まちメール | ソフトバンク Yahoo!ケータイ
▼ Yahoo!ケータイ
▼ 関西メニュー
▼ ライフ
▼ 行政
▼ 大阪府警察
▼ 安まちメール | KDDI (au, TU-KA) EzWEB
▼ Ezトップメニュー
▼ カテゴリで探す
▼ ライフ
▼ 行政サービス
▼ 関西
▼ 大阪府警察
▼ 安まちメール |
|-----------------|---|--|---|

「JiMiN SiMiN (じみんしみん)」創刊にあたって

自由民主党・市民クラブ大阪市長 幹事長 大丸 昭典

大阪市政改革という大きな転換期にあって、市民の皆様とのつながりをより深めるため、私たちの活動(議会活動、政務調査活動、市政に対する主張など)の情報発信力を向上するべく、この度、私たちは会派ホームページを刷新し、会派広報誌「JiMiN SiMiN (じみんしみん)」を創刊することとなりました。「JiMiN SiMiN (じみんしみん)」という名前には、われわれ市議員も市民の一員であり、議会と市民が同じ目線で繋がっているという気持ちをこめております。市民ニーズを的確に捉え、真に必要な施策を着実に展開し、市民の大いなる期待に応えられるよう取り組んでまいりますので、今後とも私たち会派の活動にご注目いただき、ご支援くださいますようお願い申し上げます。

自由民主党・市民クラブ大阪市長ホームページ <http://www.jimin-osaka.com/>

自由民主党・市民クラブ大阪市長議員団の政策

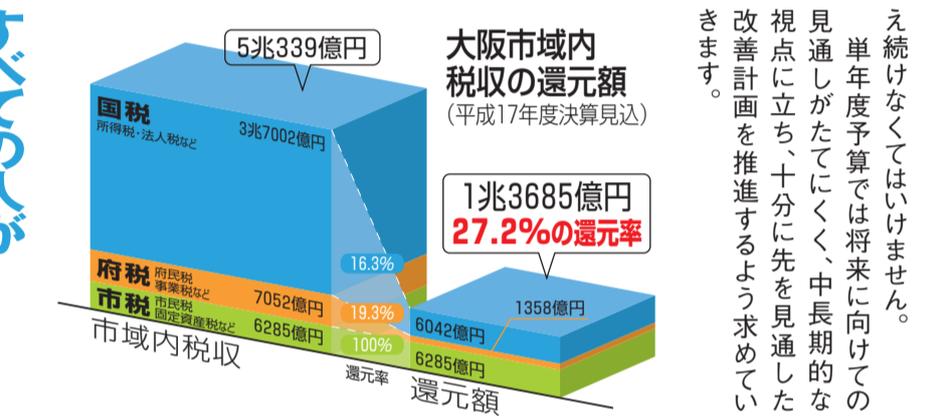
市民の信頼を回復するため。
職員の福利厚生や給与などの厚遇問題発覚に端を発し、市民から失われた信頼を回復するために、**組合問題や同和問題**などこれまでタブー視されてきた領域に果敢に踏み込んだ改革が行われていること、人件費等の見直しが進んでいることについては一定の評価はできるものの、未だに余剰人員が多くその活用策などが明確に示されておらず、同和問題についても施策の方向性が示されただけです。我が会派としても、今後も引き続き抜本的な見直しに向けて厳しく対応していきます。

未来につながる財政改革。
都市経営の観点に立ち、市民サービスの質を落とさずに**施策と事業の選択と集中、ハードからソフト**への転換を行ない、危機的な状況である財政について抜本的な改革を行なう必要があります。平成17年度決算では市政改革着手を反映し、人件費などの経費削減によって収支改善が見られ、市債残高が戦後初めての減少となるなど、明るい兆しは見られるものの、生活保護をはじめとする福祉費の増加傾向が見られるなど、依然危機的な財政状況は脱していません。一方、大阪のような大都市が市内の税金を市民のために十分に活用できない仕組みそのものも大きな問題です。**国と地方の分権問題**はこうした税金の配分が大きな争点のひとつです。それには、昼間の人口が夜間人口を百万人以上上回る大阪市の場合、交通の整備やゴミ処理など**大都市特有の財政需要**をカバーしていることなども国に対して訴

市民の信頼を回復するため。
職員の福利厚生や給与などの厚遇問題発覚に端を発し、市民から失われた信頼を回復するために、**組合問題や同和問題**などこれまでタブー視されてきた領域に果敢に踏み込んだ改革が行われていること、人件費等の見直しが進んでいることについては一定の評価はできるものの、未だに余剰人員が多くその活用策などが明確に示されておらず、同和問題についても施策の方向性が示されただけです。我が会派としても、今後も引き続き抜本的な見直しに向けて厳しく対応していきます。

未来につながる財政改革。
都市経営の観点に立ち、市民サービスの質を落とさずに**施策と事業の選択と集中、ハードからソフト**への転換を行ない、危機的な状況である財政について抜本的な改革を行なう必要があります。平成17年度決算では市政改革着手を反映し、人件費などの経費削減によって収支改善が見られ、市債残高が戦後初めての減少となるなど、明るい兆しは見られるものの、生活保護をはじめとする福祉費の増加傾向が見られるなど、依然危機的な財政状況は脱していません。一方、大阪のような大都市が市内の税金を市民のために十分に活用できない仕組みそのものも大きな問題です。**国と地方の分権問題**はこうした税金の配分が大きな争点のひとつです。それには、昼間の人口が夜間人口を百万人以上上回る大阪市の場合、交通の整備やゴミ処理など**大都市特有の財政需要**をカバーしていることなども国に対して訴

暮らしやすい環境を。すべての人が
少子高齢社会でいわゆる「生活弱者」と呼ばれる、高齢者、子ども、障害のある人々が不自由を感じずに生活できる大阪市を目指します。そのためには、**医療・介護・福祉サービス**はもとより、**教育・安全**などあらゆるハード・ソフト両面での行政サポートが必要です。行政は、真にサービスを必要とする市民に必要なサービスを提供していかねばなりません。受益と負担の関連に配慮しつつ、複雑多様化する市民の福祉ニーズに的確に対応するように諸制度を拡充してまいります。最近では、**障害者自立支援法の負担軽減策や激変緩和策、児童手当の給付額アップ**など市民の皆様から寄せられた意見をもとに国に対して予算を要望し、実りを得ました。このように責任政党として、市民の皆様が声をあげてまいります。



2007年の夏に、世界のトップアスリートたちが大阪にやってくる。



活気あふれるまちづくり。
都市のにぎわいはヒト・モノ・カネ・情報が集まり、持続可能な発展を確保することから始まります。大阪の象徴的なエリアとして、大阪北ヤードでは先進的なITやロボットなど**産・官・学**の連携を強化して特色ある民間主導のまちづくりを。また、中之島や御堂筋、上町台地などでは歴史文化資産の再発見や、豊かな水資源を見直し**大阪らしさの創出**につなげ、市民・ビジターともに大阪が誇る文楽や能などの伝統芸能やあらゆる音楽・映像を楽しめる都市観光メニューを作り出すことなど、民間と行政の枠組みを越えた協力の仕組みを築きます。また、**地域経済の活性化**に向けて、街の店舗や工場などが地域に暮らす人々との新たな魅力作りに向けた活動を応援してまいります。更に、地域コミュニティ活動をきめ細かく支援するため、官民協働の拠点としての重要性が高まる**区役所機能の充実**を進めます。

市民の生命と財産を守る防災対策。
今年度より政策調査会災害対策研究部会を設立し、市民が求めている「安全で安心して暮らせるまちづくり」をより充実させるよう、平成19年度予算編成にあたり「地域防災計画の充実」他8項目について市長に対し要望を行いました。また、地域防災計画の改訂に伴い、災害に強いまちづくりをめざし、危機管理体制を一層強化し初期初動体制の徹底や意思決定システムの整備・伝達機能の充実を図るよう取り組みます。自主防災力を高めるためにより**実践に即した防災訓練**、手引きとなる**地域防災計画市民版**を作成し**全戸配布**するなどの防災対策をさらに強く推し進めてまいります。



もって市会のこと、知りたいな。
大阪市会では、さまざまな広報活動に取り組んでいます。市会だよりの発刊や「私たちが大阪市会」(テレビ大阪)を年6回放送、大阪市会ホームページにおいては本会議の審議状況をインターネット録画放映しています。また市役所7階の市会図書室では、会議録や広報誌などの刊行物が自由に閲覧できます。

会議を見たいときは、どうするの?
大阪市会の本会議は、誰でも見ることが出来ます。希望する方は、受付で先着順に傍聴整理券を受け取り、これに住所と氏名を記入して入場することになります。また事前に申し込めば、聴覚・言語機能に障害がある方のために、手話通訳も実施しています。

「市会」って、なんですか。
選挙によって大阪市の代表に選ばれた人々を市議員として市会議員の集まりが「市会」です。大阪市会は「市議会」ではなく、「市会」と言います。これは戦前から、大阪・横浜・名古屋・京都・神戸の5大都市だけで使われている呼び方です。

どこで、どんな会議が行なわれているんですか。
会議は、市役所内にある議場で行なわれます。市会には、定例的に招集される定例会と会議を開く必要が生じた場合に招集される臨時会があります。大阪市会では、年4回の定例会や臨時会の会期を会議規則で定めています。

